

ビワキジラミ にご注意！

ビワの激しい「すす病」は加害のサイン

四国の一部地域のビワに新害虫 **ビワキジラミ** が発生し、発生地域から出荷された苗木を通じて分布が拡大する恐れがあります。

生産者だけでなく一般のご家庭でも、平成27年以降に苗木を購入された方は、特に注意して頂き、疑わしい場合は、すぐに市町村役場等へご連絡ください。



果実に発生した黒い「すす病」の被害



新梢基部に付着した白い蠟（矢印の先）



果実の基部に付着した白い蠟（矢印の先）

【被害のようすと発見のポイント】

- ビワキジラミの被害は4～6月に多く見られます。幼虫はベタベタした甘露と、白い綿のような蠟（ろう、ワックス）を排出します。
- 甘露に黒カビが繁殖して「すす病」となり、果実や枝葉が著しく汚れます。
- 幼虫は、果実の基部や、芽・枝葉の基部のすき間などに隠れています。全長3mm前後の黄褐色のセミに似た成虫は、葉裏の主脈沿いなどに寄生しています（裏面写真）。
- ビワに**白い蠟をともなう激しい「すす病」**や害虫が見られたら、市町村役場、最寄りの地域振興局にご連絡ください。



尾部から白い蠟を出すビワキジラミの幼虫



ビワキジラミの成虫

【防除に関する留意点】

- ビワキジラミに適用のある農薬として、**スカウトフロアブル**（2,000倍、収穫3日前まで、3回以内）、**スタークル／アルバリン顆粒水溶剤**（2,000倍、収穫前日まで、2回以内）、**オールスター Sprey**（原液、収穫前日まで、スタークル／アルバリン顆粒水溶剤と合わせて2回以内）が登録されています。
- 枝葉のすき間や樹皮下などに隠れている幼虫には薬剤がかかりにくいいため、丁寧に散布しましょう。

ビワキジラミと被害についての情報はこちらをご覧ください。

- 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
2013年度成果情報
http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/fruit/2013/13_045.html
- 徳島県病害虫防除所 平成24年度農作物病害虫発生予察特殊報第1号
http://www.pref.tokushima.jp/_files/00340076/2012tokushuhou001.pdf
- 香川県病害虫防除所 平成28年度病害虫発生予察特殊報第2号
<http://www.jpnpn.ne.jp/kagawa/toksyu/h28/h28tokusyu02.pdf>

連絡先

市町村役場

最寄りの地域振興局・支庁農政普及課

ご不明な点は鹿児島県農政部食の安全推進課へお問い合わせください。（電話 099-286-2891(直通)）